

第四次町田市子ども読書活動推進計画（案）
市民意見募集実施結果

2019年12月

町田市

第四次町田市子ども読書活動推進計画（案）
市民意見募集実施結果

「第四次町田市子ども読書活動推進計画」の策定にあたり、以下のとおり市民の皆様のご意見を募集いたしました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

ご意見につきましては、本計画の策定及び今後の市政の参考にさせていただきます。

1 意見募集の期間

2019年10月1日～10月31日

2 意見の周知

広報まちだ10月1日号、町田市立図書館ホームページ

3 配布（閲覧）場所

各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習総務課（市庁舎10階）、生涯学習センター、自由民権資料館、各市民センター、町田・南町田・鶴川の各駅前連絡所、各子どもセンター・子どもクラブ、ひなた村、保健予防課（市庁舎7階）、保健所中町庁舎、健康福祉会館

4 募集方法

郵送、ファクシミリ、メール、窓口

5 意見の内訳

5名から13件のご意見をいただきました。ご意見の項目別の内訳は以下のとおりです。

（おひとりから複数のご意見をいただいた場合は、主旨ごとに分割して集計しています。）

第3章 第三次計画の成果と課題	1件
第4章 「第四次町田市子ども読書活動推進計画」の策定	5件
第5章 本計画の取組	3件
その他	4件

6 ご意見の概要とご意見への対応

とりまとめの都合上、いただいたご意見は要約し掲載しています。

第3章 第三次計画の成果と課題

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	p.11 3「第三次計画の課題」(1)について 各施設が施設のおはなし会などをボランティアに依頼して実施しているのが実態で、施設側とボランティアが一から相談して、おはなし会などを設定しているのではないので、「協働」で行ったというのはふさわしくないと思う。例えば、「おはなし会ボランティアにもっと参加してもらう必要があります。(中略)地域のボランティアに協力してもらって行いました。」と書くのがふさわしいのではないか。	「協働」とは「地域の多様な主体がお互いを尊重しながら共通の目的を達成するために協力して活動すること(町田市「協働による地域社会づくり」推進方針より)」の意味あいで使用しています。ここでは、子どもの読書活動を推進、活性化するという共通目的で、施設とボランティアが協力して開催していることを「協働」と表現しています。計画書にも補足いたします。

第4章「第四次町田市子ども読書活動推進計画」の策定

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	p.13 2(1)①子どもの自主性を大切に 「子どもと子どもの可能性を広げるような本との出会いを実現することが大切です」という文章はわかりにくいです。「子どもの可能性を広げるような様々な本に子どもが出会えるようにする事が大切です。」というように変えたらどうか。	ご意見を参考に、文章表現の変更を検討いたします。
2	p.13 2(1)②家族と一緒に育てる読書の習慣 子どもが保護者と一緒に詩や本を書いたり、その日の出来事を書いたり、本の感想を言い合ったりする活動を学校が指導するようバックアップして欲しい。 読み聞かせや絵本のイベントを開催すると良い。	家庭での読書活動については、個別取組2-13の今後の方針にありますように、現在『家庭学習推進の手引き』を改訂しており、その中に、家庭に対する読書習慣確立の啓発として「家読」紹介を含めるか検討しています。 すべてではありませんが、多くの小学校で読み聞かせ等のイベントを実施しています。

3	<p>p.13 2(1)③地域ボランティアが支える読書活動</p> <p>自発的であるべきボランティアに行政側が勝手に役割を振り分けて、それを当然として書かれていることにボランティアは反感を感じると思う。「学校や家庭だけではフォローしきれない部分を地域ボランティアが支えることを期待します。地域ボランティアに、小学校での読み聞かせ等を行い、子どもたちに新しい本の世界を提示する役割を担ってもらえるように協働体制を作ります。」というようなスタンスで書くのがいいと思う。</p>	<p>ご意見を参考に、文章表現の変更を検討いたします。</p>
4	<p>p.14 2(2)①市民活動を活かす支援</p> <p>行政の役割の第一は「市民活動を活かす支援」ではなく、読書活動を推進するような施策をすることではないか。町田市計画では、地域に置ける図書館の役割が第一に書かれておらず、図書館はあくまで支援という立場でしか書かれていないのは、図書館の本来の役割を果たしていないのではないか。図書館が主体的に取り組み、他の公共施設、各部署における取組を情報として取りまとめるだけでなく、取組が効果的になるようにもう少し踏み込んで関わるべきではないか。</p>	<p>市立図書館は、地域の読書活動の推進を当然に行う施設であり、本計画はその前提の上で、行政の子どもに関わる施策を担当する各課が、子ども読書活動を更に推進するための取組を記載しています。各部署における取組に対し、図書館は各課と協働し、図書館の役割を活かしたフォローを引き続き行います。図書館の役割については、計画書の文章に補足いたします。</p>
5	<p>p.14 2(2)③推進計画の周知、理解促進</p> <p>この計画の主役としている市民が読書活動推進計画策定委員に一人も入っていないのは問題ではないか。</p>	<p>今後の参考にさせていただきます。</p>

第5章 本計画の取組

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>「基本目標3：子どもの読書に関わる人の配置と育成」とあるように、読書推進には中心となる専門知識を持った専門職が大切であり、公共図書館に司書、学校図書館にフルタイムの学校司書の配置等、専門職員の配置を明記することが必要だと考える。</p>	<p>学校司書の配置については、「町田市教育プラン2019-2023」の基本方針Ⅱ 施策1 重点事業3「学校図書館の機能強化」において改善の検討を記載しております。</p>

2	学校に1名、専任の学校司書を配置してほしい。(ボランティアではなく)学校司書や司書教諭の質問や相談に応えられる学校図書館支援センターも設置してほしい。	学校司書の配置については、上記と同じ回答になります。 学校図書館支援センターについては、今後の参考にさせていただきます。
3	「学校図書館活用の手引き」とはどのようなものか、HPで閲覧可能か。	「学校図書館活用の手引き」とは、町田市の学校図書館関係者向けのガイドブックで、児童・生徒が調べ学習で活用する本の紹介リストや読書推進に関わる先進的な取組事例等をまとめたものです。 ホームページ公開も今後予定しております。

その他

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	きっかけ作りのために、図書館の本と学校の本をある程度巡回させて触れる機会をつくる。	今後の参考にさせていただきます。
2	意見募集は保護者に向けて学校が取るべきだ。	今後の参考にさせていただきます。
3	同じ本が同じ図書館にあることで、シリーズの本に偏りがあるので、中央図書館以外は原則1館1冊としてほしい。	計画以外に対する意見ですが、今後の参考にさせていただきます。
4	検索する数字と表示される数字の全角・半角が混ざっているのか、検索しても出てこない場合があるので統一してほしい。	計画以外に対する意見ですが、今後の参考にさせていただきます。